



家庭通信 4月号



2022年4月8日
学校法人 織田学園
おだ認定こども園

お子様のご進級、ご入園おめでとうございます

宝野公園の桜が一斉に満開になり、昨年の秋に植えたチューリップやクロッカスの球根も寒さに耐えじっくり栄養を蓄えて一斉に花が咲きはじめました。子どもたちの大きくなった事と一緒に祝いして温かく迎えてくれているかのようです。

さて、この4月で織田学園が幼児教育に携わって、47年目となります。先の見えない不透明な社会の中にあっても、子どもたちの生きる力の基礎をしっかりと子どもたちに手渡していけるように、乳幼児期に育てておきたいことをしっかり見据えて取り組んでまいりたいと思っています。今年度は乳児と幼児合わせて243名のこどもたちと33名の正職員、56名の非常勤職員という大家族で賑やかにスタートいたします。(別紙に全員の職員のご紹介をさせていただきます)所帯は大きくても一人一人を大切に細やかな保育をするとともに、人との繋がりを大切に進んでまいります。

新年度を前にして、全職員(保育士以外に、バスの添乗・調理担当等非常勤職員も含む)とともに、園内研修をおこない、今年度重点的に取り組む保育内容のことや、看護師が中心となり、「保育現場で園児を守るための心肺蘇生法研修」を行い、保育方針等を確かめ合う機会をもちました。子どもに関わるすべての職員が一丸となって園児そして子育てをしていらっしゃる保護者の皆様のサポートを行います。至らぬところもあるかと思いますが、なんでも言い合える関係を築きながら、子ども達のすこやかな成長の為に、二人三脚で進んでいきたいと思えます。本日配信いたします。別表には、今年度の教育保育目標を掲げておりますので、ご一読ください。

この一年間、お子様の成長を共に喜んだり困ったことを一緒に悩んだりしながら、皆様との連携を深めこどもたちの笑顔が増える一年に出来るよう職員一同努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

【今年度の園内研修について】

今年度は一年を通して、東洋大学 高橋 健介先生をお招きし、クラス毎の保育の様子をビデオ撮影したのちビデオカンファレンスをします。保育環境や大人の援助など、たくさんの目で保育を振り返り、より良い保育の提案ができるような機会といたします。

どうぞご理解ご協力をお願いいたします。

4月のねらい



<年長>

- 色々な活動に参加する中で、年長組になった喜びを味わう。
- 興味のあることを見つけ、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 戸外で思い切り体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。
- 春の自然に触れながら、様々なことに興味関心を広げ、発見や体験を楽しむ。

<年中>

- 新しい環境での生活の仕方がわかり自分で行おうとする。
- 自分の好きなことを見つけ進んで遊び楽しむ。
- 保育者に親しみをもち、安心して過ごす。
- 身近な春の自然に触れ、心地よく過ごす。

<年少>

- 園生活の仕方を知り、安心して過ごす。
- 好きな遊具や用具・場所を見つけて遊ぶ。
- 身近な生き物や園庭の草花などに触れながら親しみを持つ。

<2歳児>

- 新しい環境や保育者に慣れ、安心して過ごせるようにする。
- 身近な生き物や草花に興味を持つ。

※0・1歳児は個別のねらいをたてています。

